

## 第2学年国語科学習指導案

指導期間 平成14年9月10日～9月11日  
指導学級 石鳥谷町立石鳥谷小学校  
2年2組 男子20名 女子20名 計40名  
指導者 上野尚子（長期研修生）

1 教材名 「かん字クイズ [一年生のかん字]」（光村図書「こくご二年(上)」）

### 2 教材について

#### (1) 教材について

本教材は、五月の漢字小教材「かん字かるた」と同様に、前学年に提出した漢字を書きなれるための教材であり、その意味では、一学年のすべての単元や教材とかかわっている。したがって教科書のクイズに加えて、第一学年の単元や教材を踏まえたクイズを提示することも、漢字を書き慣れるために意味深いといえる。なぞなぞや、絵をかいてその中から出題する方法が紹介されているが、どちらも楽しみながら活動できる内容となっている。

#### (2) 児童について

二年生になって前単元までにすでに87字の漢字を学習している。また、一年生に学習した80字を加えるとすでに167字の漢字を学習したことになる。同じ漢字でも書けるようになっていく児童とそうでない児童がある。また、普段の生活の中でも漢字を使って文章を書くことが少ない児童もある。漢字に対して難しいというイメージを抱かせず、楽しく復習するためには、漢字を使ってクイズを作ったり答えたりする活動は効果があると考えられる。

#### (3) 指導にあたって

漢字を楽しみながら学習できる一つの方法がクイズである。漢字がまだよく書けない児童に対しても、教科書の付録を利用したり、実際に教科書の中から探したりするという活動を取り入れることにより、安心して楽しく漢字の学習ができるようにする。また、クイズの楽しさは実際にクイズの問題を解くことにあるので、個々に考えさせる時間を十分にとったり、グループでの活動を取り入れながら楽しい活動をさせるとともに、一年生に習った漢字を書く場をたくさん設けるようにしたい。

### 3 単元の目標

#### (1) 国語への関心・意欲・態度

・一年生に習った漢字を使った「かん字クイズ」に意欲的に取り組もうとする。

#### (2) 話すこと・聞くこと

・友だちが出題する「かん字クイズ」をよく聞き、答えることができる。

#### (3) 書くこと

・一年生に習った漢字を使って「漢字クイズ」を考えたり、答えを書いたりすることができる。

#### (4) 言語事項

・一年生に習った漢字を書き慣れることができる。

### 4 単元の指導計画（全3時間）

(1) 第一次 一年生で習った漢字を使って、クイズ作りをする。（2時間）

(2) 第二次 クイズ大会をとおして一年生で習った漢字を書けるようにする。（1時間）

単元名 ( かん字クイズ [一年生のかん字] ) 指導時数 ( 3 時間 )

本時の指導 ( 1 時間目)

(1) 目標

- ・ 一年生で習った漢字を使ってクイズに答えたり、クイズ作りをすることができる。

(2) 展開

段階	学習活動及び内容	教師の働きかけ・支援策 〈めざす児童の姿〉	児童の活動	個々の思考を助ける書く活動 〈ねらい〉	評価規準 【関連】
導入 5分	1 学習課題を知る。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">                     一年生でならったかん字をつかって「かん字クイズ」をしよう。                 </div>	・ 一年生で習った漢字を使ってクイズをしながら学習することを知らせ、意欲をもたせる。	書く 聞く 書く	・ 題名を書く。(A-1)  ・ 学習課題を書く。(A-1)	
展開  35分	2 教科書P72の問題を解く。  3 漢字クイズ作りに挑戦する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ P72①の問題の漢字を書く。</li> <li>・ 黒板に絵を掲示して何なのかを確認してから児童に丁寧に書かせる。</li> <li>・ P72②のなぞなぞに答える。</li> <li>・ なぞなぞの答えを確かめてから書かせる。</li> <li>・ 書いたならば隣同士確認させてから、みんなで確かめ合う。</li> <li>・ P73の漢字を書く。</li> <li>・ 漢字を忘れた子には、教科書の「一年生でならったかん字」を見て書いてもよいことを知らせる。</li> <li>・ まず漢字を選んでから、その字に合ったなぞなぞを作らせる。その際今までの学習を振り返らせる。</li> <li>・ 一定の時間になったら、となりどうし問題を出し合い答えさせる。</li> </ul>	書く  読む  書く  話す 聞く	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 体の部分を表す漢字を書く。(A-2) 〈個々に一年生で習った「体の部分を表す」漢字を想起させ、使わせる〉</li> <li>・ 漢字を使ったなぞなぞの答えを書く。(A-2)</li> <li>・ 隣どうし確認する。(B-1) 〈わからなかったところは教え合う〉</li> <li>・ 漢字を使ったなぞなぞに答える。(A-2) 〈一年生で習った漢字をしっかりと想起させ、書かせる〉</li> <li>・ 漢字クイズを作る。(B-2)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ クイズに答えたり自分でクイズを作ったりしながら、一年生で習った漢字を書いている。</li> <li>  <b>【教科書の付録の見方、使い方。】</b></li> <li>・ 習った漢字をできるだけ進んで使おうとしている。</li> </ul>
終末 5分	4 本時を振り返る。  5 次時の学習内容を知る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 観点を与え、自己評価をさせる。(意欲の面と、理解の面について聞く)</li> <li>・ グループごとに漢字クイズを作ることを知らせる。</li> </ul>	書く  聞く	・ 学習の自己評価をする。(C-1)	

(3) 評価

- ・ 一年生で習った漢字を使ってクイズに答えたり、クイズを作ったりできたか。(ノート、発言)

単元名 ( かん字クイズ [一年生のかん字] ) 指導時数 ( 3 時間 )

本時の指導 ( 2 時間目)

(1) 目標

- ・ グループごとに一年生で習った漢字を使ってクイズを作ることができる。

(2) 展開

段階	学習活動及び内容	教師の働きかけ・支援策 〈めざす児童の姿〉	児童の活動	個々の思考を助ける書く活動 〈ねらい〉	評価規準 【関連】
導入 5分	1 前時の学習を振り返り、本時の学習課題を知る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">一年生でならったかん字をつかって、「かん字クイズ」を作ろう。</div>	・一年生で習った漢字を使って教科書のクイズをし、なぜなぞを作ったことを想起させる。	聞く  書く	・学習課題を書く。(A-1)	
展開  35分	2 P73の絵を見て漢字を使って文を作らせる。  3 二人組みで協力して漢字クイズを考える。	・まず、はこに入れた漢字を使って文を作らせるが、その他の漢字を使ってもよいことを知らせる。 ・はじめに、文を作って発表させる ・「子どもが手をつないで走っている。」「青い空と白い雲」・・・など絵の中のようすを漢字を使って書かせる。  ・自分で考える時間を与え、十分に考えさせ、ノートに書かせてから話し合わせる。 ・絵を使ったり、なぜなぞによるクイズを考えさせるが、その際、短時間で完成できるものとしたい。 ・次の時間にはクイズ大会をするので、しっかりと活動するように励ます。 ・問題が決まったら、画用紙に書かせる。大きさは自分たちで考えさせる。	聞く  話す 書く  書く  話す 聞く	・絵の説明を、漢字を使って書く。(A-2) 〈一年生で使った漢字を使わせる。〉  ・漢字クイズを考えて書く。(B-2)	・習った漢字をできるだけ進んで使おうとしている。 【主語と述語の関係に注意させる。】  【これまで学習してきた単元の内容を想起させ、その内容を書く。】 【前単元「あったらいいな、こんなもの」で学習した話し合い方を想起させる。】 ・クイズに答えたり自分でクイズを作ったりしながら、一年生で習った漢字を書いている。 【付録の見方、使い方】
終末 5分	4 本時を振り返る。  5 次時の学習内容を知る。	・観点を与え、自己評価をさせる。(意欲の面と、理解の面について聞く) ・グループごとに漢字クイズを出題することを知らせる。	書く  聞く	・学習の自己評価をする。(C-1)	

(3) 評価

- ・ グループごとに一年生で習った漢字を使ってクイズを作ることができたか。(観察、クイズ用紙)

単元名 ( かん字クイズ [一年生のかん字] ) 指導時数 ( 3 時間 )

本時の指導 ( 3 時間目)

(1) 目標

- ・ グループごとに作ったクイズを出し合い、一年生で習った漢字を書けるようにする。

(2) 展開

段階	学習活動及び内容	教師の働きかけ・支援策 〈めざす児童の姿〉	児童の活動	個々の思考を助ける書く活動 〈ねらい〉	評価規準 【関連】
導入 5分	1 前時の学習を振り返り、本時の学習課題を知る。 一年生でならったかん字をつかった「かん字クイズ大会」をしよう。	・一年生で習った漢字を使ってグループごとに「かん字クイズ」を作ったことを想起させる。	聞く 書く	・学習課題を書く。(A-1)	
展開 35分	2 グループごとに自分達で作った漢字クイズを出題する。  3 クイズの作り方についての感想を出し合う。	・グループごとに前に出て、出題させる。 ・出題→解答→答え合わせを行い、しっかりと字形、筆順の定着を図る。 ・書き順を意識させるため、答えは板書させる。  ・よかったことを中心に発表させる。	話す 聞く 書く  書く	・答えをノートに書く。(A-2) 〈一年生で学習した漢字を正しく書く。〉  ・「漢字クイズ」大会での友だちのよかったことを書く。(C-2)	【「あったらいいな、こんなもの」で学習した発表の仕方、聞き方を想起させる。】 ・クイズに答えたり自分でクイズを作ったりしながら、一年生で習った漢字を書いている。 ・習った漢字をできるだけ進んで使おうとしている。
終末 5分	4 本時を振り返る。  5 次時の学習内容を知る。	・感想を発表させる。  ・新しい単元「サンゴの海の生きものたち」の学習を始めることを知らせる。	話す  聞く		

(3) 評価

- ・ グループごとに作ったクイズをしっかりと出題することができたか。(観察)
- ・ 一年生で習った漢字が書けたか。(ノート、観察)
- ・ 楽しみながら、クイズに答えようとしていたか。(観察、感想)